

6次化事業者経営サポート事業 委託業務仕様書

1 業務の目的

本事業では、イノベーター活用事業における専門家と連携し、新商品の開発促進や県内事業者の人的交流、販路開拓等のマッチングの強化を図り、新ふくしま地域産業6次化戦略の推進を図る。

具体的には、新商品の開発や事業者間ネットワーク、マッチングの構築等を支援する6次化支援員を配置し、県内の農林漁業者等を中心に日常的に消費者やバイヤーの情報、各種制度の情報提供、事業者間のニーズ・シーズのマッチング等を行い、事業展開のサポートを実施する。

2 業務の内容

(1) 事業実施体制

6次化支援員等の募集・労務管理に関わる業務関係及び会計に関する事務など総合的に管理する。

6次化事業者の多様なニーズに迅速に対応するため、6次化支援員の活動方針等を随時アドバイスし、全体を統括するコーディネーターを設置することとする。

また、コーディネーターは6次化プロジェクト販路開拓等について、現場指導も含め適宜アドバイスすることとする。

(2) 業務内容と役割分担

ア 事務局

事業の執行管理、6次化支援員の支援及び管理、イノベーター活用事業との調整を行う。

イ コーディネーター

6次化支援員の全体統括、6次化推進プロジェクトや現場指導によるマッチング等の支援。

ウ 6次化支援員

① 6次化事業者への個別相談

6次化商品を開発する農林漁業者や事業者を発掘し、新商品開発及び6次化商品の販路開拓等の支援をイノベーター活用事業の専門家等と連携して行う。

② 売れる商品づくりの支援

事業者間ネットワーク、マッチングの構築、店舗における常設棚を確保するため、消費者の嗜好やバイヤーの情報を的確に捉え、6次化事業者の事業展開をサポートする。

効果的なサポートを行うため、6次化支援員等に対して、基礎的知識の研修等を実施する。

・開催回数 3回以上

③ 関係機関との連携

地域産業6次化を推進するため、関係機関と連携し、それぞれの持つ6次化事業者の状況等を報告し、情報共有する会議を開催する。

(3) ふくしま地域産業6次化戦略プロジェクト支援

新ふくしま地域産業6次化戦略に基づく6次化プロジェクトの支援を地域ごとに専門家や関係機関と連携しながら行う。

ア オンライン商品開発プロジェクト支援

マーケットインの考え方にに基づき、ストーリー性を重視した商品開発の強化を図り、売れる6次化商品づくりを支援する。

イ 地域づくりプロジェクト支援

地域資源や地元食材等を活用し、地域で連携した商品開発や販路開拓等を支援する。

(4) 6次化ネットワーク支援

県内の様々な地域力（人材、資源、伝統）を活用した魅力ある商品づくりや地域づくりを促進するため、マッチングの強化と人的交流を支援する交流会を開催する。

- ・支援先事業者（創業塾卒塾生等含む）によるマッチング交流会の開催 年1回

3 委託経費

本委託事業の対象となる経費は、以下のとおりとする。ただし、本事業の実施に要した経費を証明できない経費は、本事業の対象経費とすることができない。

また、人件費を計上する場合は、「補助事業の実施に要する人件費の算定等の適正化について」（平成22年9月27日付け22経第960号大臣官房経理課長通知）に基づき、算定すること。

6次化支援員人件費、旅費（6次化支援員、事務局職員及びコーディネーター）、コーディネーター謝金、資料作成費、消耗品費、賃借料、通信運搬費、一般管理費等

4 その他

- (1) 業務で新規雇用する予定の労働者の募集に当たっては、上公共職業安定所への求人申込み又は文書による募集、直接募集等、募集の公開を図るよう適宜工夫すること。
- (2) 委託費の支給事由と同一の事由により支給要件を満たすこととなる国や県等の交付金、補助金、助成金等との併給はできないこと。

5 企画提案書

目的を達成するため、①事業実施体制、②コーディネーターの提案、③6次化支援

員の活動内容、④ふくしま地域産業6次化戦略のプロジェクト支援の方法、⑤6次化ネットワーク支援の方法、⑥「イノベーター活用事業」との相乗的効果の発現方策、⑦その他、提案事項があれば記載すること。